

平成 24 年度 第 1 回はあもにい運営審議会 議事録

1. 日時 平成 24 年 7 月 6 日（金）午前 10 時から
2. 場所 熊本市男女共同参画センターはあもにい 4F 会議室
3. 出席者 運営審議会委員 10 名
清重尚弘委員（会長）、八幡彩子委員（副会長）、伊藤一敏委員（議事録署名者）、坂口京子委員（議事録署名者）、飯村直亮委員、重村和征委員、中山敏子委員、那須円委員、濱本伸司委員、原幸代子委員（五十音順）
オブザーバー 熊本市男女共生推進室 松本雅子室長
事務局 4 名 代表企業 A 上村浩二（九州総合サービス株式会社専務取締役）
構成企業 B 小山雄治（熊本産業文化振興株式会社常務取締役） 構成企業 C 藤井宥貴子（有限会社ミュージックプランニング代表取締役兼はあもにい館長） 加島裕士（はあもにい副館長）
山田総務管理係長、吉田稀世総務管理係主任、反後文代事業係

4. 会次第及び議事内容

- (1) 開会
- (2) 開会あいさつ（藤井宥貴子はあもにい館長）
- (3) 審議会委員紹介
- (4) オブザーバー及び職員紹介
- (5) 会長、副会長選出
- (6) 審議
議題 1 平成 24 年度事業計画及び既に実施した事業報告
議題 2 運営状況について（時間不足のため省略）
議題 3 その他（時間不足のため省略）
- (7) 閉会

5. 会議録

- (0) 開会に先立ち館内案内。
初めての来館という方もあり、施設に対する理解を深めていただくために実施。
2 班に分かれて見学を行う。案内は安藤事業係長・入家事業係主任。

- (1) 開会 10 時 25 分より
- (2) 開会あいさつ（藤井宥貴子はあもにい館長）

藤井：こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。本来ならば管理運営共同企業体の代表の尾池があいさつすべきですが、所用のため留守をしておりますので、わたくし藤井があいさつさせていただきます。

改めまして、本日は、貴重なお時間を費やして運営審議会にご出席いただきありがと

うございます。当会館が、私どもが熊本市より管理運営を引き継いでから早3カ月が過ぎました。正直なところ、初めての仕事、初めてのスタッフがあつまり、毎日毎日が試行錯誤の連続だったように思います。皆様に、「これまではこうではなかった」「こうじゃないんじゃないか」と問われるたびに、熊本市の条例を引っ張り出しては頭を悩まし、また本日おいでの、担当課（男女共生推進室）の松本室長に何度も何度もお尋ねし、またはあもにいフェスタ等にご協力いただいている、今回審議員をお引き受けいただいた中山様はじめ登録団体のみなさまのお力をおかりしながら、何とかここまで来ることができたと思っています。

7月にはいり、ようやくスタッフひとり一人が自分の役割を認識し、日々の業務にあたり対応している姿が見えるようになってきたかなというところですよ。

また、ここでの業務を重ねるごとに、男女共同参画社会の実現という今日の日本社会において、また熊本市においても重要な役割を担っているということを確認しながら、熊本市における男女共同参画社会の拠点であるあもいの管理者という役割を果たすべく、スタッフ一丸となって真摯に取り組んでいきたいと思っています。

皆様のお手元に、会館の紹介パンフレット、式次第の資料がおいてあるかとおもいますが、いずれも黄色いミモザカラーを使っています。これは、市民の皆様がこの会館をこれまで以上に親しみを持っていただき、知っていただくことを考えて、ミモザの木をシンボルツリーとさせていただきました。これは、各国・各地で様々な男女共同参画に関わるの催しが行われてる『国際女性デー』が3月8日であること、この3月8日がイタリアでは、女性をたたえ感謝し、ミモザの花をプレゼントするという『ミモザの日』であることから選びました。ミモザは、人と人の心をつなぐ花です。わたしたちはあもいにも、市民のみなさんの心と心をつなぐ、心のよりどころ・会館でありたいということをお願いしています。

最後に、これは私個人のお願いです。私は22数年前育児サークルをつくり、その活動の拠点はこの会館でした。この会館で託児をしてもらいながら、ひとつひとつの活動をつみかさねて今日があります。そんな中、このような審議会にも多く出席させていただきました。若い私にとっては、そういった経験が今につながっている、そこで出会った先生方とのつながりが今の私を作っていると思っています。今回も、若い方に審議員として加わっていただいています。どうぞこの会が審議だけにとどまらず、はあもいを中心に委員の皆様が輪が広がり、男女共同参画の輪がソーシャルリースの輪が広がっていく拠点となりますようねがっています。

私どもも審議員の皆様には折に触れてお声をかけさせていただきたいと思っていますので、お時間が許すときには、足を運んでいただきたいと思います。本日は、本年度の自主事業・指定事業を中心にみなさまにご審議いただくということですが、忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

(3) 審議会委員紹介

当日出席の各委員の自己紹介（10名）

清重委員：清重と申します。たまたますぐ近く九州ルーテル学院にあります。お隣近所のよし

みで声をかけていただき、よろこんでまいりました。よろしく申し上げます。

中山委員：熊本県男女共同参画活動交流協議会の会長をさせていただいております中山と申します。さきほど館長がここで育てていただいたとおっしゃいました。わたしも田尻市長誕生と同時にこの会館ができて、二十数年わたくしもここで育てていただきました。まず、感じましたことは、行政という官製ハガキから、民間に移って私製ハガキにだいぶ変わりつつあるなと感じています。よろしく申し上げます。

重村委員：市議会議員の重村でございます。昨年から引き続きご指名いただきました。どうぞよろしく申し上げます。

原委員：原でございます。三年前に市役所を退職しまして、今は回遊魚のように自由になっています。今回は皆様との出会いを楽しみにしております。どうぞよろしく申し上げます。

飯村委員：熊本日日新聞社の文化生活部の飯村と申します。文化生活部では、支局営業・男女共同参画の話など子育て支援の取材を中心にしています。どうぞよろしく申し上げます。

伊藤委員：黒髪に住んでおります伊藤と申します。自治会・民生委員・総務省の行政相談員を拝命しています。その中に男女共同参画というのもありまして、いろいろと取り組んでいます。新しい管理者が入られて副館長とも何度も話をさせていただき、はあもにい通信の回覧などでいろいろ協力させていただいています。ただ、一言申しあげれば、この黒髪校区は大変老人が多ございます。はあもにい通信は字が小さくて色が薄いという意見もでています。ぜひ考慮していただきたいと思います。また、資料室がオープンになっており、中で図書を見ていると周りから見られている感じがして気になる、という意見もでています。

八幡委員：熊本大学教育学部で家庭科の教員養成に関わらせていただいています八幡です。熊本大学でもここ4～5年男女共同参画に力をいれておりまして、全学で4名おります男女共同参画推進員のコーディネーターとして取り組んでいます。個人的には小学6年生の双子がおり、子ども会活動やPTA活動など様々な子育ての活動に関わりながら仕事との両立をする、次世代育成の活動にも関わらせていただいています。どうぞよろしく申し上げます。

那須委員：熊本市議会議員の那須円と申します。学生時代からこちらの多目的ホールでのギターのコンサートや詩の朗読会などで利用させていただいており、とても親しみのある会館です。みなさんと一緒に、よりよい会館になるように考えていければと思います。わたくし自身2歳の女の子の父親として、男女共同参画についてはより身近なテーマとして、しっかり学びながら取り組んでいきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

坂口委員：マザーズシップ母親応援隊の坂口京子と申します。現在は薬園町で親子スタジオラフィットを構えて、親子向け、母親ケア、産後ケア、などのエクササイズを行っています。わたくし自身中学生と小学生の2人の子どもがおりますが、子連れで参加できる、託児があるセミナーなどによく参加させていただいていました。これからもよろしく申し上げます。

濱本委員：若者の踏み出す一歩を応援する、社団法人「フミダス」の濱本と申します。学生を中心に、より実践的な社会経験をしてもらうプログラムをもっています。これらをふまえて、何か役立つことがあればと考えています。みなさまのもとで学ばせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくおねがいします。

(4) オブザーバー及び職員紹介

(オブザーバーとして出席いただいた男女共生推進室松本室長、及び共同企業体からあいさつを行った。)

松本室長：男女共生推進室の松本と申します。実は、わたくしは実家も黒髪で、幼稚園も中学校も高校も大学もルーテルで、本当に縁がある地域です。今もすぐ近くに住んでいます。この場所は私が生まれて育った場所です。熊本市は、4月から政令指定都市になりました。実際には、区の中の町づくり推進課という中に男女共同推進という部門で事務分掌にはいっています。また、こちらの総合相談室は、区の福祉課と連携をしながら男女共同参画社会の実現にむけて考えていかなければならないと思えます。これから皆様にご協力をお願いしたりご意見をうかがったりしていくこともあるかと思えます。どうぞよろしくおねがいします。

代表企業／九州総合サービス株式会社：九州総合サービスの総務総括の上村と申します。本日は、尾池は当社がビルメンテナンス協会の理事をやっております関係で沖縄に出張しております。私どもは指定管理を中心にいろんな施設を管理・運営をさせていただいております。第一号は水の科学館で、平成18年から関わらせていただいております。新しいところでは、熊本駅前の森都心プラザの管理運営をさせていただいております。このような経済状況の中、厳しいチェックをいただきながら運営にたずさわっておりますが、利用者の皆様に褒めていただき、ありがとうという言葉をいただけるように頑張っております。はあもにいの申請につきましては、迷いもありましたが、藤井さんとの出会いがあり、気持ちが固まりました。さきほど館長も話しましたがこの会館に育てていただいたという感謝の気持ちをもって運営をしていこうということで、スタッフ一同ところをひとつにしておりますので、どうぞ、審議員の皆様もわたくしどもと心をひとつにしてはあもにいを盛り上げていただければありがたいと思えます。

構成企業／熊本産業文化振興株式会社：益城町にありますグランメッセの指定管理をさせていただいております。熊本産業文化振興株式会社の小山と申します。グランメッセは県の施設ですが、平成18年に指定管理になりまして、7年目を迎えました。はあもにいにつきましてはですが、委員のみなさまの忌憚のないご意見をいただきぜひファンになっていただきたいと思えます。よろしくおねがいします。

構成企業／ミューズプランニング：ミューズプランニング代表の藤井でございます。この5年間は、会社は社員にまかせて、私はこちらに専念するというということでここに立っています。弊社は、先ほど申し上げましたように22年前に子育てサークルとしてスタートし、9年前に法人化しました。女性ばかり16名、プラス男性のパート1名という小さな企業です。主な業務は、生活情報誌「すぱいす」「あれんじ」子育て情

報誌「キャロット」の編集企画をする会社です。今回のリーフレットやホームページは、これらの経験を活かして作らせていただきました。女性が子育てをしながら働ける会社を作りたいという思いでミューズプランニングという会社を設立しました。こちらにきて、ミューズの延長線上にあるかなと感じています。私たちがやってきたことは男女共同参画社会の推進そのものだったということのを再認識し、気持ちを新たにしているところです。会社ともどもよろしくお願いします。

はあもにい副館長：加島でございます。わたくしは熊本産業文化振興におりまして、グランメッセがオープンする前、16年前から関わってまいりました。グランメッセをひとつのツールとして熊本を元気にしたいという思いで営業その他に関わってまいりました。今後ははあもにいをツールにして、地域から、地域に溶け込んで、地域の皆様に愛されながら、地域を元気にしていきたいと思っております。これまでやっておりました産業振興とは違う切り口になると思っておりますが、男女共同参画社会の実現という観点から取り組んで参りたいと思っております。どうぞお力をお貸しくださいよろしくお願いします。

職員紹介。吉田、反後、山田。

(5) 会長、副会長選出

<会長選出>

規程の第6条により委員の方々の互選で会長選出を行う。

濱本委員の推薦があり、清重委員を推薦。承認された。

濱本委員：清重委員を推薦いたします。これだけ経歴が豊かな委員の方々が集まっている中で、幅広いまとめをやっていただくのは、清重委員がもっとも適する方だと思います。

続く推薦、異見がなかったため、清重委員に会長職をお願いする。

清重会長：せっかくご推薦いただきましたので、引き受けさせていただきます。よろしくお願いします。

<副会長選出>

副会長の選出。意見がないため、清重会長の腹案を尋ねることを了承。指名で承認。

清重会長：私が指名してよろしいですか？絶対断らないでくださいね。(笑) 熊本大学の八幡委員にお願いしたいと思っております。(拍手にて了承)

<議事録署名者指名>

議事録署名者を会長が指名。

清重会長：こちら私私が指名してよろしいのですかね？ お一人は地元黒髪で経験豊かな伊藤委員、そしてもう一人は坂口委員にお願いしたいと思っております。(拍手にて了承)

これより、議事の進行は清重会長に行っていただく。

(6) 審議

議題 1 平成 24 年度事業計画及び既に実施した事業報告

清重会長：では資料の 6 ページを開いてください。議題 1 は、平成 24 年度の実業計画および既に実施した事業報告です。

事業係反後より、事業計画の説明と、実施事業をスライドにより説明。

清重会長：説明ありがとうございました。みなさん、いろいろな審議会に今まで出てきておられて、シナリオ通りに粛々と進んでいってシャンシャンで終わるのがよい、という会もありますが、みなさんお忙しい中集まっているわけですから、ぜひ一言は発言し、藤井館長が言ったことに必ず反論する、といった会にしようではありませんか。紹介にあった事業、ひとつひとつよく考えられていて、とても面白そうなものばかりですね。たとえば、「ソフリエ講座」なんて、交通費を出してもらえらば、ぜひ孫を連れて参加したいと思います。では、トップバッターに坂口さん、先日の講座の講師を務められましたが、ご感想などいかがでしょうか？

坂口委員：6 月 17 日は父の日、ということでの開催です。お父さんと子どもさんの講座で 2 歳前後の子どもさんの参加が多かったです。絵本を使ったり、身体を使ったりして子ども達とどのようにつきあうか、という目的の講座でした。この親子の雰囲気をお母さんが後ろから見ていただいて、どのような関わり合いやふれあいをしているのかを観察してもらいました。それから一緒になって子どもさんと一緒にワークしてもらいました。このように子どもを通して、お互いの忙しさを理解すること、共同で何かをすること、ということが男女共同参画の根っこになるのかな、という気持ちがありました。

清重会長：ありがとうございました。では、どなたかコメントを… 八幡委員、こちらを見てらっしゃいましたね。

八幡委員：報告の中で、在宅ワークの講座の定員がわずか 1 時間で埋まったとありました。講座の定員を埋めるということで苦勞をすることが多い中で、広報をどのようにしているのか、ということが 1 点。このような定員が埋まってしまった場合のその後の対応をどのようにしているか、の 2 点を教えてください。

報告者（反後）：広報は、市政だよりの 7 月号に掲載しました。その他ホームページやチラシを作成して告知をしました。今回のように定員がいっぱいになった場合には、希望する方へはお名前と住所を聞きまして、今後このような講座があるときはお知らせするという対応を取っております。そしてこれほど人気がありましたので、同様の講座を今後開くことも検討しております。

藤井館長：付け加えさせていただきます。はあもにい通信へも掲載しております。こちらも効果があると思います。また講座が終わりましたらアンケートを取るようになっておりますし、その中で今後情報が必要である、と住所やメールアドレスを登録していただいた方へも送るようにしています。このようにしてはあもにいのファンを増やしていております。

清重会長：はあもにい通信はどのくらいの範囲に、何部ほど配布しているのでしょうか？

事務局（吉田）：現在印刷をかけているものが 800 部ほどです。配布場所は黒髪地区の区長さまに協力いただいて回覧をしていただいたり、市内の公民館や子ども文化施設へ多めに送って掲示等をお願いするようになっています。

清重会長：何か提案等があればおっしゃってください。伊藤委員は、仲介する立場から何かありませんか？

伊藤委員：館長さんより早い時期から回覧の依頼がありました。それでやってみようか、ということで行っております。黒髪地区は市でも非常に高齢化率が高い地域でして、まず出てきたのが、字がこまかばい（小さい）との声でした。せっかくこれだけの内容があるのだから、ぜひ見やすくしてもらいたい、と館長さんをお願いしたいです。それともう1点。ちょうど明日明後日とユニセフなどのイベントが毎年行われます。各地の郷土料理を持ち寄って交流をするイベントなのですが、今年はパレアであります。厨房（食のアトリエ・食品加工室）でできないか、と副館長さんに打診したが、今年は無理でしょうと言われました。早くここで開催できるように、施設の整備をお願いします。

清重会長：先ほどの館内の見学が、早速このようなフィードバックになっているようですが、館長、いかがでしょうか？

藤井館長：貴重なご意見ありがとうございます。熊本市と協議を重ねて、少しでも早く万全の態勢を整えられるようにしたいと思います。

濱本委員：先ほどの報告を聞きまして、非常に精力的に事業を行っていることにすごいなあ、と感じました。私の活動が、学生たちと社会とのつながりについて行っているのどこかリンクできるところがないかと思いながら聞いておりました。聞きたい点は、これだけ積極的に動いてらっしゃるのでこの施設の目的や目標がもっとあるのではないか、と思った点と、またその中で私や私たち委員の方々へ積極的に関わってほしいという希望などございましたら教えていただきたいです。

藤井館長：私たちの夢は、もっとたくさんの人たちにはあもにいに来ていただきたいということです。近くには大学もありますし、社会的な活動をしてらっしゃる方もたくさんいらっしゃいます。その上で、世代を超えて、もっとたくさんの方が気軽に集える施設にしたいということが大きな目標です。そして委員の方々にご協力願いたいことは、近くにある学校、大学や高校との連携を図りたいことです。特に後半で子どもイベントを考えていますが、教育学部や幼児教育を勉強している学生の方々に企画の段階から加わっていただき、何かをやっていきたいです。もう一つは、3月8

日はミモザの日として、イベントを行う予定ですが、まだ何も決めておりません。ただ、女性が女性であってよかったな、と思えるような発信をこのはあもにいからしていき、市全体に広げていきたいです。そのためには委員の方々から多くの意見をいただき一緒に作り上げていきたいと考えています。そしてまた、濱本委員が行っているような、次の世代へつなげていく、ということを通じての事柄で考えていきたいと思っております。現在、幼児室は定員が12名で自主事業の託児しか受けられないようになってしまっています。近くに教育学部や幼児教育を行う学校もありますので、登録制などにして、有償のボランティアとして、プロの保育士と一緒に受け入れ人数を増やすことにより一般のイベントでの託児をもっとたくさん受けられるといいなと考えています。またこの施設は社会体験の場として、ナイストライの事業も積極的に引き受けていきたいです。学生さんたちにも職場体験などを多く受け入れて、間口を広げていきたいです。資格取得講座がありますが、社会人だけでなく、学生さんたちにも積極的に受けていただきたいと考えています。もう一点追加させてください。ソフリエ講座は、第1回目ですので東京の本部から講師に来ていただきます。受講された方ははあもにいに登録していただいて、そこから各地域に派遣させていただいて広めていただきます。

濱本委員：私の活動は学生達にどのように社会と関わらせていこうか、という部分になりますので、ぜひ具体的に積極的に関わらせていただきたいと考えております。

伊藤委員：震災について。私の住んでいる黒髪の避難区域として、はあもにいがあたると思いますが、災害などがあつたときの受入れ態勢や備蓄品は整っているのでしょうか？

松本室長：はあもにいには市の避難施設とは指定されていません。黒髪地区の避難地域は済々黌高校になります。ただ近隣の方は一時的な避難場所として押し寄せてくることは十分に考えられます。受入れを拒むものではありませんし、できる限りは対応・受入れをしますし、備蓄品等も含めて協議していきます。

那須委員：情報発信の件について。ホームページを立ち上げたり、はあもにい通信を各施設に配布したりしていることは、とても素晴らしいと思います。最近話題に上っているフェイスブック等の活用など、組織に頼らない横のつながりなどございましたら教えてください。

加島副館長：ご意見のあつた通り、フェイスブックを活用することは考えておりましたが、仮の段階ですが、ページも立ち上げております。また現在試みていることは、名刺をリーダーでPCに取り込みまして、業界や分野などいくつも分類いたします。その分類ごとにフェイスブック上でメールを送ることができますので、非常に効果が高い案内になるのでは、と考えております。

重村委員：熊本市が今年から政令指定都市になりまして各区が誕生しましたが、その各区からの意見の吸い上げや活動はどのように行っていくますか？

松本室長：私の方から答えさせていただきます。ご指摘の通り、政令指定都市になりましたの

で、各区の特色を出すことと、それぞれの区との連携は、これから取り組んでいく大きな課題です。男女共生推進室としては、市としての男女共同参画の啓発を行っていくとともに、各区毎に事業を行っていくことを考えていっているところです。

中山委員：新しくなりましたはあもにい通信、とてもきれいに、とてもあたたかい雰囲気を持たせた素晴らしいものだと思います。いうならば「官製」ハガキから「私製」ハガキに代わったように感じました。一つ気になったのが、支援団体に期限が記入されているようですが、期限が終わったあとの支援や貸メールボックスはいかになるのでしょうか？

藤井館長：お褒めいただきありがとうございます。支援団体についてですが、今まで通り引き続き利用できるようにしております。

飯村委員：新聞記者の立場からですが、さまざまな事業を行っている様子ですが、記者としては、やはり目新しいこと、めずらしいことがニュースソースとなります。はあもにいで企画アイデアの出し方や募り方を教えてください。またさまざまなアンケートを行っていらっしゃいますが、このアンケートの活かし方や分析について、それを活かせる仕組みはあるのでしょうか？

藤井館長：アイデアにつきましては、ちょうど私の会社で仕事として行ってきたものになります。今までの仕事や読者のニーズの蓄積がありますし、生活者目線にたち、常にアンテナを張って情報収集をしながら仕事を行っていっているところです。もちろん委員の方々からのご提案をいただきたいと思っておりますし、またアイデア同士を合わせて新しいものを生み出す工夫をしております。アンケートにつきましては、まだ取り組みを始めたばかりですので、これからの事業の参考にできるよう、その仕組みを作る準備をすすめているところです。

飯村委員：ありがとうございます。先ほどのソフリエなどなかなか面白い取り組みがありますので、それをさらに話題性を持たせることができるような付加価値を持たせることが必要だと思います。様々な取り組みについてはリリースなどを出されると思いますが、ぜひ取材がくるようなペーパーを作られることを期待します。

藤井館長：ありがとうございます。ぜひ、参考にさせていただきます。取材もよろしくお願ひします。付け加えさせていただきますと、はあもにいを熊本市のテレワークの拠点にしたいと考えております。テレワークというのは、男女共同参画社会として目指すワークライフバランスを考える中でも外せない取り組みだと考えています。それを拠点化、活性化させるための企画、またお知恵を各大学や関係機関などとも連携して進めていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

原委員：お話しを聞かせていただいていますと、いろいろとがんばっているようですね。アンケートの結果を拝見しますと、初めて参加される人が多いのが伺えますし、在宅ワーク講座については、わずか1時間で定員が埋まってしまったとのことですね。在

宅ワークのニーズの高さは感じていましたが、やはり、という感じがしました。今後も重点的にとりこんでいただきたいと思います。また、最初に会館内を案内いただきましたが、とてもなつかしく設立当時を思い出しながら見学させていただきました、ただある程度年数が経っていて老朽化も目立ちましたし、使えない施設があるということも伺いました。この件は、市のフォローが必要なところだと思います。やり取りを密にして解決していただきたいと思います。加えて、館内を回っていて、貼り紙などでよいので計画停電のお知らせをされるとよいと思います。また、各講座などでも市民サービスの向上に努めていただいているようですが、どのようなことに力を入れておられますか？たとえばファミリーサポートさんとフォローを連携していくようなことをされるといかがかと思っております。

藤井館長：ご意見のあったとおり、市民サービスの向上として館内の使い勝手をよくすることは考えております。食品加工室の件もありますが、お客さまのニーズを把握し、優先順位を考え、できるだけ早く万全の状態にできるようにしたいと思います。また自主講座の効果を上げるためにいくつかの工夫を考えております。自主講座は講師の先生に依頼しっぱなしではなく、担当者をつけてフォローをしてくようにしたり、ファミリーサポートと連携してフォローをすることを考えております。今年の夏の大問題として計画停電の予定があります。計画停電にかかるお客さまへは既に連絡を終えておりますし、前日の18時には発表がありますので、お知らせをする流れはできております。

清重会長：みなさん、ありがとうございました。まだしゃべっておられない方がいらっしゃるようですが、上村さんいかがですか？

上村総務統括：3ヶ月が経ち、スタッフたちが一生懸命運営をがんばってきて、ようやく仕事が流れはじめたと感じているところです。いろんなところに目を配っておりますが行き届かない点があるとは思っていますので、どしどしご意見・ご指摘ください。もう一つ付け加えさせていただくと、指定管理になっていちばん最初が変わった、と言われたのが駐車場係でした。60歳を過ぎる男性が、マナー研修を受けて、お辞儀の仕方からみっちり学んでいます。みな、はあもにいへいらっしゃるお客さまに一番最初に会う職種だという思いをもって、仕事に向き合っています。この暑い中しっかりと挨拶をしております。もちろん対応が悪かったら叱ってもらって結構ですが、しっかりした対応をしているな、と感じられましたら、一言お声をかけてやってください。私たちも、委員の皆様が気づかれるよりも先に気づいていろんな点を改善していきたいと思っております。

清重会長：みなさんありがとうございました。当局のみなさんもお指導ありがとうございました。時間もきましたので、ここで締めくくりたいと思っておりますが、今後もこのように、楽しい雰囲気でも開いた意見を交換できる会にしていきたいと思っております。最後になりましたが、当会館が利便性だけでなく快適であって、素敵だと思われることが大切だと思っておりますので、そこまで心をつくして、みんなで考え、私どもも意見を言

っていかなければならないわけで。そのためにはぜひ私たちも一度こちらのイベントに参加しなければなりませんね。

議題 2 運営状況について（時間不足のため省略）

議題 3 その他（時間不足のため省略）

（7）閉会

副館長より閉会の挨拶

加島：本日は、忌憚のないご意見ありがとうございました。時間になってしまいましたので、取り上げることができませんでしたが、お手元の資料には、本日予定しておりました議題「運営状況について」また「わたしたちが新たにとりくんでいること」を記載しておりますのでお目通しください。私たちもまだ3か月です。これから夏にかけて多忙になります。これからもみなさまに愛されるはあもにいをめざして頑張っていきたいと思えます。総合女性センターからはあもにいになって、近隣の方々にお聞きすると「女性しか使ったらいかんと思っとった」と言われる方もあります。そういう意味でも、地元の方にまずご理解をいただき、一緒に盛り上げていきたいと思っています。地域をまきこんだ取り組みなども進めてまいります。皆様方のお力をいただきながら頑張っていきたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。

（8）その他

次回日程について。来年度の事業計画が出そろった時期を検討。12月初旬。